

# 平成24年度 学校自己評価システムシート (県立白岡高等学校)

目指す学校像	自主と奉仕の精神に満ち、社会に貢献する人間を育てる、地域から信頼される学校
--------	---------------------------------------

重点目標	1 確かな学力を育成するために、授業改善をはじめとする学力向上に関する取組を推進する。 2 学校・家庭・地域の絆を深め、開かれた学校づくりを推進する。 3 生徒一人ひとりの、自立する力を育む進路指導を推進する。 4 豊かな心と健やかな体を有する、明るく活力ある生徒を育成する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	5名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業態度は概ね良好で、チャイム着席等のマナーも守られている。情報コミュニケーションコースを中心に、検定・資格取得に意欲的な生徒も多い。</li> <li>生徒の学力に差があり、基礎基本の徹底を図ると共に、より伸ばす教育の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学習意欲を高めるために、引き続き、授業改善に取り組む。</li> </ul>	①年間2回の授業公開週間を設定し、授業評価アンケートを実施する。 ②教員が授業に関する研修会・研究会へ参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒対象学校評価アンケートにおける項目「分かりやすい授業を行い、熱心に指導してる」の肯定的評価65%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート項目「分かりやすい授業を行い、熱心に指導している」では1・2年生66%、3年生68%が肯定的評価に回答した。</li> <li>①授業公開、授業評価・学校評価アンケートを計画通り実施した。</li> <li>②教員20名が延べ61回、授業改善に資する研修会・研究会に参加した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに生徒の授業への満足度を高めるために、教員相互で授業を公開しあい、授業力を向上させる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が主体的に学習する態度を育成し、学力に応じた学習環境を整える。</li> </ul>	①各教科・科目で適切な小テストや課題付与を実施する。 ②「学力向上プロジェクトチーム」と連携し、進学補習を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業中の課題提出率100%を維持する。</li> <li>進学補習参加者の満足度を測るアンケートを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の学力実態に応じた指導を工夫した。</li> <li>①長期休業中の課題提出率100%を維持できた。</li> <li>②国・数・英・理4教科で進学補習を行い、1・2年生対象の進学学習会を夏季休業中と冬季休業中に実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、家庭学習の習慣化と学力レベルに応じた指導の充実を図る。学力プロジェクトチームによる学力をより伸ばす取組をする必要がある。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導や奉仕活動など、保護者や地域住民との連携協力体制が確立している。</li> <li>本校の教育活動や教育成果についての認知度を高めるために、学校からの情報発信をいっそう活性化させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動や部活動に関する情報発信の手段を工夫する。</li> </ul>	①ホームページを月1回以上更新して、情報を最新の内容にする。 ②家庭へのメール配信システムを導入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者対象学校評価アンケートにおける項目「学校からの情報提供への満足度」の肯定的評価65%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート項目「学校からの情報提供への満足度」の肯定的評価が1・2年保護者70%、3年保護者73%であった。</li> <li>①ホームページ上の写真データの量を増やし、生徒の学校生活実態を紹介した。</li> <li>②TSメールを導入し、84.2%の保護者が登録した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの改善を継続し、メール配信サービス登録者数を増やす。迅速な対応を心掛ける。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校教職員・生徒・保護者への情報提供を工夫し、本校教育の特長を周知徹底する。</li> </ul>	①学校説明会の運営や配布資料を見直し、中学校訪問での説明内容を改善する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試志願倍率が普通科、情報コミュニケーションコースともに1.1倍を上回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験部活動や学校説明会各回の参加者数を増やすことができた。</li> <li>①情報コミュニケーションコースの案内や学校ポスターを新規作成し、中学校訪問や各種説明会で配布した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒募集の充実にも努める必要がある。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間を見通した指導計画を立て、様々な進路行事を通じて効果的な指導を実現している。</li> <li>生徒には、各自が希望している進路先の現状を十分に理解させ、自己の適性や能力も考慮した上でよりよい進路選択ができるよう指導することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自分の興味・関心、適性及び能力を踏まえて的確な進路選択ができるよう指導を行う。</li> </ul>	①進路オリエンテーションや進路ガイダンス及び就職指導の内容を充実させる。 ②それぞれの生徒の進路希望を定期的にチェックし、適切な指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリーター0名を維持する。</li> <li>就職内定率100%を目指す。</li> <li>生徒・保護者対象の学校評価アンケートにおける項目「進路結果についての満足度」で肯定的評価90%以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年と連携し、時季に応じた適切な進路指導を行った。</li> <li>①引き続き厳しい就職情勢であったが、フリーター0名と就職内定率100%は、ほぼ達成することができた。</li> <li>②学校評価アンケートにおける進路結果の満足度は、生徒が82%、保護者が82.8%であった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き生徒一人一人の興味・関心・適正及び能力を考慮し、将来の職業を意識した進路指導を継続していかなければならない。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の共通理解に基づく、一貫した指導の実践を通して、生徒が充実した学校生活を送れる環境づくりに、引き続き取り組む。</li> </ul>	①生徒指導部会や職員研修を通して、生徒指導に関する共通理解を深める。 ②部活動での生徒とのかかわる時間を増やし、技術力の向上、チーム力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導人数10名以内を目指す。</li> <li>県大会以上の大会に出場する部活動10部以上、県入賞3部以上、県大会ベスト16以上5部を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が一貫した方針の下、一丸となって、指導する体制を維持してきた。</li> <li>①生徒指導人数現在5名である。</li> <li>②県大会出場12部、県入賞4部、ベスト16以上6部だった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導人数を減少させることができたが、同一人物が問題行動を繰り返す例がみられた。また、内容では不正行為が多かった。定期考査や提出物等において、更に規範意識を持たせるよう指導して行きたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣が守られ、元気のいい挨拶ができる生徒がほとんどである。</li> <li>部活動、学校行事が活発に行われ、成果をあげている。</li> <li>種々の教育活動を通して達成感を抱かせ、チャレンジ精神やリーダーシップを持つ生徒を育成することが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の共通理解に基づく、一貫した指導の実践を通して、生徒が充実した学校生活を送れる環境づくりに、引き続き取り組む。</li> </ul>	①生徒指導部会や職員研修を通して、生徒指導に関する共通理解を深める。 ②部活動での生徒とのかかわる時間を増やし、技術力の向上、チーム力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導人数10名以内を目指す。</li> <li>県大会以上の大会に出場する部活動10部以上、県入賞3部以上、県大会ベスト16以上5部を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員が一貫した方針の下、一丸となって、指導する体制を維持してきた。</li> <li>①生徒指導人数現在5名である。</li> <li>②県大会出場12部、県入賞4部、ベスト16以上6部だった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導人数を減少させることができたが、同一人物が問題行動を繰り返す例がみられた。また、内容では不正行為が多かった。定期考査や提出物等において、更に規範意識を持たせるよう指導して行きたい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>文化部の活動が盛んになってきたのは、喜ばしい。</li> <li>生徒については、厳しいことを言った後にはほめてあげてほしい。</li> </ul>					

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成25年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の研究会や研修参加のフィードバックをしっかりとって学力向上につなげてほしい。</li> <li>白岡高校は、地道な努力の積み重ねにより、着実に伸びていると思う。</li> <li>生徒会役員の学校紹介を聞いてすばらしいと思った。</li> <li>生徒の真面目さが出ている。健全な学校であるとの印象を受けた。</li> <li>情報コミュニケーションコースの生徒募集への先生方の努力は評価できる。</li> <li>推薦だけに頼らないで、大学進学をチャレンジする生徒を育てて欲しい。</li> <li>就職状況の難しさを考えると、進路指導に関する達成度はAでよいのではないかな。</li> <li>文化部の活動が盛んになってきたのは、喜ばしい。</li> <li>生徒については、厳しいことを言った後にはほめてあげてほしい。</li> </ul>	